

ご存知ですか？ 地震による火災の多くは電気が原因なのです。

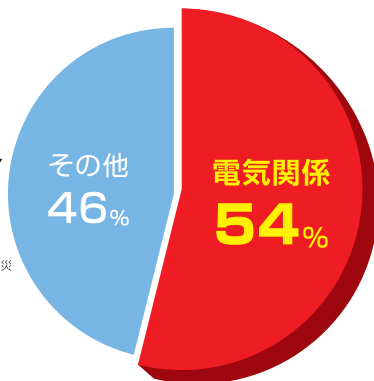
東日本大震災における本震による火災、全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのなかの過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災の事です。



東日本大震災における火災の発生原因

日本火災学会誌「2011年東日本大震災火災等調査報告書」より作成



地震による電気火災対策には**感震ブレーカー**が効果的です。

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセントの電気を自動的に止める器具です。時間のない避難時に電気火災を防止します。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断	バネの作動やオモリの落下により、ブレーカーを切って電気を遮断
遮断性能：高	遮断性能：高	遮断性能：中	遮断性能：低
予防範囲：家全体	予防範囲：家全体	予防範囲：接続家電のみ	予防範囲：家全体
費用：約5～8万円	費用：約2万円	費用：約5千～2万円程度	費用：約3千～4千円程度
電気工事必要	電気工事必要	埋込型は電気工事必要	電気工事不要

感震装置のはたらき
分電盤タイプの場合



地震探知後3分以内に停電が発生した場合
復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します

感震ブレーカーを設置して
電気火災から「家」「地域」を守りましょう！



マスコットキャラクター
まもりタイガーくん



一般財団法人
北陸電気保安協会